

家族の絆

来る三月十八日の卒業証書授与式をもつて、今年度の大きな行事をほぼ終えることとなります。保護者の皆様、地域の皆様にはご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。さて、学校行事や日々の活動の中で、いつも全校のよきリーダーとして頑張りを、活躍してくれていた六年生十三名が卒業を迎えます。これも家庭の励ましがあつたからに他ありません。

子どもは地域の自然、文化、そして人の愛情で育ちます。けんかをして仲直りすること、人とかかわり方を学びます。思い通りにならないことがあつてこそ、我慢する心も育ちます。こうした子どもの育ちの根底になくてならないものは、家庭の愛情による安定感、安心感を持たせることです。子どもは、愛されているという安心感からさらなる自信や意欲を持ち、自分や周りの人のよさに気づいて大切にしようとしめます。そして我慢する心も生まれるのです。

家庭は活力源です。本校の子どもたちは、自分に自信を持ち、学校で友達と共に学び、共に競い合うなかで成長していきま

す。それは家庭で深い愛情を受け、**家族の絆**を強めてきたからです。特に六年生は、こうした家族の絆があつたからこそ六年間、小学校に通い続け成長

することができたのだという感謝の気持ちと自覚を持つてほしいと思います。

子どもたちがやがて世に出て思うふるさとは、内外海地区であり、内外海小学校です。そしてその根底は、安らぎのふるさとである家庭です。内外海小学校で学んだこと、歴史と文化の内外海地区で育つたことを誇りを胸に力強く巣立つてほしいと願っています。

最後になりましたが、今年度の教育活動にあたり、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の方々にご支援ご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。



通学安全パトロール隊 感謝の集い

今年度登校下校で、児童の安全確保をしていただきました。通学安全パトロール隊の方、スクールガードリーダーの方、勝山さんをお迎えして、感謝の集いをおこないました。パトロール隊長の野村親史さんから次のような話がありました。登校の様子は大変よいが、下校になると周りに気がとられて列が乱れることが多いので注意してほしい。安全と危険な場所の違いを学んだ後、学年毎にパトロール隊の皆さんに感謝の言葉を贈りました。

懇談会で児童の様子について

てご意見がありましたので紹介します。よく顔を知っているせい、あいさつをしない子がいる。

○バスの時間に余裕をもつて来て欲しい。バスに待つてもらうこともある。

○自転車で小浜方面に出かけている子がいるので心配である。

○大きな声で「いつてきます」「ただいま」と言ってくれるので嬉しい。

○外でみんな遊ぶ姿が減ってきている。

○パトロール隊の仕事は、子どもへの声かけが中心である。大人から子どもへの声かけを、地域全体でやってほしい。学校では「さわやかあいさつ運動」をしているので、大人も出会った

らあいさつをお願いしたい。

○一般客に迷惑がかからないようバスの座席に座っている。

学校で指導が必要な件は、直ちに指導していきま

す。一年間お世話になりました。

がとうございま



新学習指導要領について

四月から新学習指導要領の移行期間に入ります。以前学校だよりで概要を説明しました。先日文部科学省より小中学校の移行期のパンフレットが届きましたので、別紙のとおり添付します。ご一読ください。